

■山田わか 評論家、婦人運動家。波瀾の青年時代、女性の自立を説く評論・身の上相談、母性保護法も実現させた。

やまだわか
沖縄県編入・1879＝ 神奈川県三浦郡久村で、貧しい農家浅葉弥平治の次女に生まれる。8人兄弟の4番目だった。

明治14年政変1881＝ 2歳：

尋常小学校では首席を通して、
初の対等条約1888＝ 9歳：
帝国憲法発布1889＝10歳：
帝国議会始・1890＝11歳：両親の考えから、高等小学校に進まず、

田畑や子守りなど家事手伝いをする。

日清戦争始・1894＝15歳：

松隈内閣・・1896＝17歳：同郡横須賀町小川の荒木七治良と結婚したが、10歳年長の夫は吝嗇で、実家の没落を機に離婚した。
八幡製鉄始・1897＝18歳：兄を助けるため、上京したが、横浜で女衞にだまされ渡米、

シアトルで娼婦アラビヤお八重の名で暮らすうち、

日露戦争始・1904＝25歳：_〔新世界新聞〕の記者立井信三郎に助けられ脱出。サンフランシスコに着くと、立井からも逃れて、キリスト教長老派教会の娼婦救済施設キャメロンハウスに逃げ込み、牧師坂部多三郎が自立のため開いていた手芸教室に通う。そこを訪ねてきた立井は、わかの裏切りに自殺する。坂部から受洗後、山田英学塾に入り、
日露戦争終・1905＝26歳：神奈川県出身で若くして渡米し独学で社会学者にまでなった塾長の山田嘉吉と結婚。
満鉄発足・・1906＝27歳：_サンフランシスコ大地震が発生して全てを失ったため、揃って帰国し、東京四谷に住み、嘉吉は外国語を教える私塾を開く。

塾生の大杉栄を通して青鞥社と接近、

明治天皇没・1912＝33歳：
大正政変・・1913＝34歳：_*オリーブ＝シュライナー「三つの夢」の翻訳を〔青鞥〕に発表してから、ほぼ毎号翻訳を中心に随筆・小論を発表し続け、特にエレン＝ケイの母性尊重主義の紹介は大正期の婦人解放思想に大きな影響を与える。

21ヶ条要求・1915＝36歳：
民本主義・・1916＝37歳：_〔青鞥〕廃刊後は、新婦人協会に参加、

べつじん条約・1919＝40歳：「女・人・母」、
大暴落・・・1920＝41歳：「恋愛の社会的意義」。_個人誌〔婦人と新社会〕を創刊する。
原敬首相暗殺1921＝42歳：

_与謝野晶子らと母性保護論争を展開、女性の経済的自立を説く晶子に対し家庭を守るべきだと主張。

関東大震災・1923＝44歳：「婦人問題概観」、
護憲三派圧勝1924＝45歳：

円本時代始・1926＝47歳：_自分の指導者でもあった嘉吉が脳溢血で倒れると、
金融恐慌・・1927＝48歳：「昭和婦人読本-処女篇・家庭篇」、
共産党事件・1928＝49歳：「現代婦人の思想とその生活」、
_献身的な看護を続けながら、

満州事変・・1931＝52歳：_〔東京朝日新聞〕の女性相談担当者となり、男性の横暴を告発し、
五一五事件・1932＝53歳：_*「強姦されてできた子」の問いに「生んで育てよ」と回答し大反響を呼ぶなど、縦横の論陣を張るが、
国際連盟脱退1933＝54歳：
帝人疑獄事件1934＝55歳：_*夫が死去。香典返しを寄付して、母性保護法制定促進婦人連盟結成資金とし、初代委員長となる。〔主婦の友〕の石川武美から顧問委嘱され、

二二六事件・1936＝57歳：「私の恋愛」、
日中戦争始・1937＝58歳：_〔東京朝日新聞〕の相談欄が打切られると、〔主婦の友〕に迎えられる。運動の結果、母子保護法が国会を通過。石川から対日感情悪化するアメリカへの使節として派遣され、再渡米して各地で講演。

総動員+健保 1938＝59歳：_メキシコ・ハワイを回って帰国。〔主婦の友〕新館竣工を機に開設された相談室の担当者もつとめ、
第二次大戦始1939＝60歳：_母子寮・保育所を設立。
日米開戦・・1941＝62歳：_ドイツ・イタリアへの親善使節となるも、独ソ開戦で帰路を断たれ、決死的行動で、日米開戦後、帰国。
近代の超克・1942＝63歳：

敗戦・・・・1945＝66歳：空襲で施設も自宅も焼失したが、

新憲法施行・1947＝68歳：_亮春婦更生施設幡ヶ谷女子学園を設立して、婦人保護事業を再開。

独立回復・・1951＝72歳：
メデー事件・1952＝73歳：_社会福祉事業法施行で、〔社会福祉法人婦人福祉会〕と改め、養嗣子民郎をサポートして、事業を進める。

その後、学校教員を退職して専念する息子の民郎に事業を任せ、静かに暮らしながら、

なべ底不況・1957＝78歳：心筋梗塞で_没した。